

目標達成計画

作成日: 平成29年11月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
2	6	研修で身体拘束についての知識や理解を深めているが、施錠が常態化しないように、鍵をかけた暮らしの大切さなどを話し合う機会づくりに期待したい	安全性を重視する観点から、施錠は継続して実施し、過剰な施錠は身体拘束(行動の制限)のひとつであることを認識すると共に鍵をかけた暮らしの大切さを話し合う機会の場を設ける。ご入居者の希望に応じた外出や行事等を通じて、一時的に開錠できる機会を増やせるよう取り組む。	訪問行事の際の玄関の開錠は継続し、全職員が参加の機会をもつ全体会議(月に1回開催)において、鍵をかけた暮らしの大切さなどを話し合い、安全・安心な環境作りに努めて参ります。	3ヶ月
					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。